

諏訪実業高校 全日制 令和4年度 学校評価表(自己評価)

学校番号47 長野県諏訪実業高等学校

Table with columns for school goals, key points, and evaluation results. It includes sections for 'School Goals', 'Key Points', 'This Year's Key Points', 'Overall Evaluation', and 'Education Activities'.

領域	対象	評価項目(具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題	達成度				改善策・向上策	
					A	B	C	D		
教育活動	IV 専門科 商業科 会計情報科	1 専門教育の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> 専門科目の学習目的の理解と意欲の喚起 社会人基礎力や専門性を高める授業の実施と学習支援 	<商業・会計情報科> ・1学年は、新たなコース制による専門科目への意欲向上と意識付けを行った。 多様な生徒の能力に応じた授業の展開や講座編成、補習の実施が継続的かつ課題である。 ・感染症対策をとって学習成果発表会開催 社会人講師による講習を実施 校外研修を各専攻で実施	○	○	○	○	<商業・会計情報科> ・2年次からのコース制への変更による専門科目への理解の促進と、1年次の基礎科目の定着を図る。 ・コース内でチームティーチングや少人数講座展開を実施する。 ・昨年に続き、感染症対策を取った上での学習成果発表会開催だったが、今後も従来通りに播らねず、新しい形式を模索していく。 意欲のある研修を行うことができた。	
		2 検定試験の活用	<ul style="list-style-type: none"> 各種検定を利用した学習意欲の向上 進路活動を意識させた検定取得の促進 	<商業・会計情報科> ・生徒が検定に向かう意欲は見られた。また、検定を利用しつつも検定学習が中心にならない授業を一部実施できた。	○	○	○	○	<商業・会計情報科> ・授業による一斉受験だけでなく主体的な受験を促す ・授業で一斉受験する検定科目や観を見直す。	
		3 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 各種取り組みの継続と発展 諏訪地域の文化・伝統をビジネスに活かす授業 	<商業・会計情報科> ・授業タウンでは新たに福祉大学校保育園との連携や、地域企業、他校の出張販売を行った。また、商店街と連携したキッズビジネスタウンを1月に実施する。 文化ビジネスでデュアルシステム実習を行い、授業と連動した実践的な学習を入れた。 <服飾科> ・各種検定に積極的に取り組み、補習や対策講座等の支援を行った。 家庭科技術検定1級2級取得11名	○	○	○	○	<商業・会計情報科> ・コースの特徴を踏まえたデュアルシステムや授業タウンでの取り組みを計画する。 ・より地域と連携した授業タウンのあり方を検討する。	
学校運営	I 教務係	1 学校活動全般の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務運営のための関係部署間の連絡調整及び情報収集 業務の整理・改善と新規企画(先生方同士の授業公開)(ICT機器の有効活用) PTA活動の精選 緊急時等の適切な情報把握と対応(緊急メールの活用)(クラスルームの利用) 校務支援システムによる情報の共有(月歴、施設予約、生徒の出欠席、成績) 	・コロナ禍の対応を始めて、臨機応変に対応してきたが、直前の予定変更が目立ったので、事前に予測できるところは早めの対応を心掛 ・授業改善を目的とした先生方同士の授業公開を行った。先生にも生徒にも実りある企画となったので継続していきたい。 ・ICT機器(タブレット等)の活用については、少しずつ校内全体に浸透してきている。より効果的な使用方法を模索したい。	○	○	○	○	・年間行事計画の作成は十分、係・学年と審議しながら進めたい。 ・授業公開は今後も継続して実施予定。 ・ICT機器を使った授業公開や、研修会も進めていきたい。	
		2 職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容の精選 研修会の励賞と支援 	・コロナ対応や学校行事の関係で、使うことが多かった。伝達がより確実にできるようになっている。 ・学校現場において、様々な情報伝達をwebで行う形に少しずつ移行しつつあり、職員もその形式に慣れつつある。うまくいっているところと、そうでないところを整理しながら、今後も継続していきたい。	○	○	○	○	・年度当初に日程を決めて計画的に進めたい。 ・対面で伝達すべきこと、web会議で済ませられることを見極めながら進めていきたい。	
		3 広報活動の充実(開かれた学校づくり)	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内・学校要覧の発行 HPの充実(更新) 保護者等への情報発信(学校通信、PTA連絡紙とHP) 学校開放事業の周知と充実(中学生体験入学) (授業公開) 	・例年通り、4月に発行することが出来た。学校訪問等の際に活用している。 ・情報係と連携して、学校のことが伝わるように、随時更新してきた。 ・学校通信を通して、学校行事や授業内容等、発信することができた。 ・体験入学は商業科・服飾科と連携し、それぞれの科の授業体験を行った。参加者からは好評の声をたくさんもらうことができた。 ・授業公開は6月と10月に行った。商業科のコース編成の変更なども違い風となり、参加者が増加してきている。	○	○	○	○	・定期的な内容・レイアウトなどを見直して、より分かりやすく伝わるものになるよう、改善していく。 ・時代の流れに合わせてより良い伝達方法を考えたい。	
		II 学校評議員会	1 本校の課題の共有と認識	<ul style="list-style-type: none"> 課題の整理と各分掌への報告 	・毎回、学校現場の中だけでは気づくことのできない貴重な意見を頂いている。通知を送る(日程を周知)することをできるだけ迅速にして、少しでも多くの方々に学校を見て頂き、意見を頂く機会を大切にしていきたい。	○	○	○	○	・校内の教員の参加者が増えるよう呼び掛けしていきたい。
		III 地域連携 ※商業・服飾以外	1 近隣へのボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化の推進。整美委員会を中心に学年(学級)単位で通学路のゴミ拾い、除草を行う。(整美係) 交通・生活・行動困難者への配慮と協力 警察・ボランティア団体との連携活動(防犯登録・施設調査と改善呼びかけ)(生徒指導) 	・年度当初の実施時期を早め校庭の草刈りを行った。地域の奉仕活動に関する検討していきたい。 ・警察官に果敢に相談していただき、特殊詐欺、性被害、薬物乱用についてお話を聞いていただき。	○	○	○	○	・猛暑や雨天で実施できない学年もあったため、適切な実施日時を年間のHP計画作成の段階で決定したい。 ・警察やボランティア団体と生徒の健全な育成にむけて、引き続き協力・連携を図っていきたい。
			2 高校大学等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係大学との研究協議・実践 授業体験によるインターンシップ 	・夏季・春季休業中に、大学の授業を体験する「松大チャレンジ」を計画していたが、コロナ禍で中止した。	○	○	○	○	・来年度は、1・2学年の希望生徒対象に、「松大チャレンジ」を計画し、高大接続に向けて、進路意識の高揚を図っていく。
			3 企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ、諏訪美ニメッセ、経営者と語る会、経営者ジョブヤドワ等の推進(進路) 企業勉強会、企業説明会の推進(進路) 採用担当者の講演会(進路) 内定生徒と採用担当者との面談(進路) 	・諏訪商工会議所様を通して、インターンシップに協力いただける企業を募った。また、長野県中小企業同友会諏訪支部様のご協力を得て、諏訪美ニメッセ、経営者と語る会を実施した。 ・12月に、内定者懇談会を実施した。社会人になるにあたっての心構え等、ご指導いただく良い機会となった。	○	○	○	○	・今後も各団体、企業との連携を境界していく。
			4 中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 他地区を含む中学校訪問等(教務) 	・計画を立て、11月中に実施した。お互いの情報交換のための良い機会となっている。	○	○	○	○	